

## 第三章

### 研究方法

第三章には研究アプローチ、データとデータ出所、方法とデータ収集方法、分析方法、研究結果を述べる方法がある。本研究の研究方法は以下のようなものである。

#### A. 研究アプローチ

本研究で使用するアプローチは二つある、それは理論的アプローチと方法論アプローチである。本研究の理論的方法は語用論を使用する。語用論方法は言語学にある研究方法として、さまざまな事態で言っている事の意図を分析する。Rustono (1999) によると、本研究では暗黙的で言語を使用すること、コミュニケーション、コンテクスト、意味を解釈ことの種類、また機能の相互をを持っている (p・4) と述べている。

第二研究アプローチは方法論アプローチである。そのようなアプローチは二つ分ける、それは質的なアプローチと記述的アプローチである。質的なアプローチは数字ではないデータに関するアプローチが、言語を使用することである (Aminuddin 1990, p・1)。記述的アプローチは使用する言語が正しいか、正しくないことを考慮しないで、

言語の使用する経験的データを述べているアプローチである (Sudaryanto 1922, p・62－63)。上に述べている意見に基づいて、本研究のトピックに関して、届きたい目的は日本語である「ちょっと」を記述する。

## B. データとデータ出所

本研究データは「ちょっと」を使用する発話である。データ出所はいくらか出所とマスメディアからある発話の例をとる。それは中に「ちょっと」を使用する発話があるの めだかの学校 1-3 の漫画、おしゃべりな時間割 1－2 の漫画、月間雑誌・修羅の刻、教科書の「みんなの日本語 1、みんなのにほんご II , 始めよう日本語初級 I, 始めよう日本語初級 II, *Living Japanese*, 日本語中級 I」、序段じゃない の映画、太陽と海の教室の映画、最後の約束のドラマ、ちび丸木ちゃんのドラマ、どらえもんアニメ My Girl のドラマである。

上の出所を選挙するの理由は出所の本は教科書にとして、インドネシアの大学で日本語を学ぶのを使用する。それ以外本研究で出所として、ドラマと映画の選挙は ドラマと映画の発話をもっともさまざまな発話があるの基礎を持っていると思われる。それで、日本語で「ちょっと」の使用することの種類を加えてできると思われる。

### C. 研究方法とデータ収集方法

本研究は分析記述方法を使用する。その方法はそのままデータを取って、データを分析する方法である（Sevilla、Harahap に 2008）。記述方法でデータについて、体系的で述べて、正確と事実に、特徴、分析するの現象を述べられる、結局 科学的データの描写を結果する。（Djayasudarma 1993、p・8）。

分析的な記述を使用すると、本研究は事実にして、日本語発話で使用する、育つる現象を分せきする。それで事実状態と同じ言語の使用することの記述を獲得する。描写が以下である。

- a. 中に「ちょっと」を使用する発話のすがたデータを取る、
- b. 知りたい問題に応じえ、取ったデータを分析する。
- c. データが系統的で、精確的、事実現象で述べる。
- d. 結果は事実ことに応じて描くする。

本研究のデータ収集テクニックは発話をじっと見て、日本語で「ちょっと」の使用する研究を書く。データ収集は書くテクニックと良く聞くテクニックで行う。教科書から取ったデータは書く的で収集するが、映画とドラマから取ったデータはよく聞く的で収集する。筆者はその発話で巻き込まない（Sudaryanto 1993、p・134）。

かくてきテクニックはデータカードで書く。データを収集して、カードで書く。教科書から取ったデータはすぐカードデータで書くが、映画とドラマから取ったデータは会話をよく聞く、次文房具を使用して、

カードデータで書く (Sudaryanto 1993、 p ・ 135)。カードデータの成分はデータ番号、データ出所、発話、とデータ分析がある。

使用するデータカードの例は以下である。

データ	分析
1. みんなの日本語 1. ページ 73  ミラー： もしもし、ミラーです。  木村 ： ああ、ミラーさん。今晚は。  お元気ですか。  ミラー: ええ、元気です。  あのう、木村さん、オサワ ・セイジのコンサート、 一生にいかがですか。  木村 ： いいですね。いつですか。  ミラー： 来週の金曜日の晩です。  木村 ： 金曜日ですか。金曜日は ちょっと、・・・  ミラー： だめですか。  木村 ： ええ、友達と約束がありま すから、...	

ミラー： そうですか。残念ですね。	
木村　： ええ、また今度お願いします。	

解説：

データカードは二つ分けて、以下でのべる。

1. データの部分にはデータ番号、データ出所、発話にある「ちょっと」のデータがある。
2. 分析部分は分析結果、それはコンテキスト、ポライトネス原則、ポライトネススケールまたわ丁寧さの程度に基づいて「ちょっと」を分析する。

分析

データ	分析
<p>1. みんなの日本語 1 hal 73</p> <p>ミラー：もしもし、ミラーです。</p> <p>木村　： ああ、ミラーさん、今晩は。お元気ですか。</p> <p>ミラー： ええ、元気です。あのう、木村さん、おさわせいじのコンサート、</p>	<p>1) 話し手： 木村（社員/ミラーの友達）</p> <p>相手　： ミラー(社員/アメリカ人)</p> <p>時間　： 夜</p> <p>場所　： あまざまのアパートめ</p> <p>メディア： 電話</p>

<p>いっしょうに</p> <p>いかがですか。</p> <p>木村 : いいですね。いつですか。</p> <p>ミラー : 来週の金曜日の晩です。</p> <p>木村 : 金曜日ですか。金曜日の晩はちょっと…</p> <p>ミラー : だめですか。</p> <p>木村 : ええ、友達と約束がありますから、…</p> <p>ミラー : そうですか。残念ですね。</p> <p>木村 : ええ、あたくし今度お願いします。</p>	<p>状態 : ミラーさんは木村にオサワ・セイジのコンサートへ誘いたいので、電話するが、木村さんは一生に行けない。</p> <p>「ちょっと」を使用する発話は断りの意図を持っている。</p> <p>2) 原則 : 気配原則</p> <p>3) 程度 : 間接程度</p> <p>ありうる答えは:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- ちょっと、・・・</li> <li>- すみません、約束がありますから、・・・</li> <li>- すみません、コンサートが好きじゃありませんから、・・・</li> <li>- オサワ・セイジのコンサートが好きじゃありませんから、・・・</li> <li>- 行けません(あなたと行くこと</li> </ul>
--	---

	が出来ません/あなたが好きじゃありませんから・・・)
--	----------------------------

#### D. データ分析方法

本研究の使用するデータ分析方法は確認技法 (*identification technique*) である。出所から取ったデータは選択して、本研究で使用する理論に応じてグループにする。けっきょうく、そのようなデータを編集する。また、「ちょっと」を使用する発話の意図を得るために、Leech の理論に基づいて原則データを分析する、Leech の理論に基づいて「ちょっと」を使用する発話の丁寧さの程度を分析する。踏み段は何かのようである。

1. データ出所になるために、教科書、映画、ドラマ、アニメを収集する。
2. 日本語の発話に「ちょっと」を使用する発話の例を収集する。
3. 語用論方法に応じて、コンテクス、ポライトネス原則理論、丁寧さの程度、に基づいて「ちょっと」を分析する。

#### E. 分析結果を述べる方法



データを分析するの次はその結果分析を述べることである。本研究でデータ分析結果は日本語で「ちょっと」の分析について述べる。それは「ちょっと」を使用する発話の発話内行為機能、Leech のポライトネス原則に基づいて「ちょっと」を使用する発話の丁寧さこと、つぎ Leech の丁寧さの程度に基づいて「ちょっと」を使用する発話の理由を述べる。このような分析結果の述べることは非公式方法を使用する。非公式方法は発話形のデータ、番号形のデータではないを述べている。非公式方法を使用すると、規則について述べることはもっとも細かくて、もっとも広く説明られる。非公式方法を選ぶ理由はシンボルまたは記号をいらないデータの性格と一致することができる。